【単価表-1】鋼管基礎（立入防止柵）_支柱高さ2.0m以下、支柱間隔2.0m　　100　基　当り

名　　称	規　　格	単位	数　量	諸雑費	備　　考
土木一般世話役		人	0.800		
特殊作業員		人	0.900		
普通作業員		人	9.200		
諸雑費（まるめ）		式	1.000		

※　諸雑費は端数処理のみ計上する。

【単価表-2】鋼管基礎（立入防止柵）_支柱高さ2.0mを超え2.5m以下、支柱間隔2.0m　　100　基　当り

名　　称	規　　格	単位	数　量	諸雑費	備　　考
土木一般世話役		人	0.800		
特殊作業員		人	0.500		
普通作業員		人	8.500		
油圧ブレーカ運転	バケット容量0.1m3対応　ベースマシン含む	日	1.100		【機械運転単価表-1】
諸雑費（まるめ）		式	1.000		

※　諸雑費は端数処理のみ計上する。

【単価表-3】鋼管基礎（門扉）_片開き門扉 門柱高2.0m以下、門扉1.0m　　100　基　当り

名　　称	規　　格	単位	数　量	諸雑費	備　　考
土木一般世話役		人	0.800	○	
特殊作業員		人	0.900	○	
普通作業員		人	9.200	○	
諸雑費（率+まるめ）	労務費の1.6%	式	1.000		

※　諸雑費は，ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ（鋼管打込用）、空気圧縮機の賃料及び油脂・燃料等の費用であり，労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

【単価表-4】鋼管基礎（門扉）_片開き門扉 門柱高2.0mを超え2.5m以下、門扉1.0m　　100　基　当り

名　　称	規　　格	単位	数 量	諸雑費	備　　考
土木一般世話役		人	0.800	○	
特殊作業員		人	0.500	○	
普通作業員		人	8.500	○	
油圧ブレーカ運転	バケット容量0.1m3対応　ベースマシン含む	日	1.100		【機械運転単価表-1】
諸雑費（率+まるめ）	労務費の2%	式	1.000		

※　諸雑費は，ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ（鋼管打込用）、空気圧縮機の賃料及び油脂・燃料等の費用であり，労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

【単価表-5】鋼管基礎（基礎ブロック）_両開き門扉 門柱高3.0m以下、門扉6.0m以下　　100　基　当り

名　　称	規　　格	単位	数 量	諸雑費	備　　考
土木一般世話役		人	2.300		
普通作業員		人	10.600		
小型ﾊﾞｯｸﾎｳ（ｸﾛｰﾗ型）運転	[標準型・ｸﾚｰﾝ機能付き・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)]標準ﾊﾞｹｯﾄ容量(山積/平積)0.11/0.08m3吊能力0.8t	日	9.100		【機械運転単価表-2】
諸雑費（まるめ）		式	1.000		

※　諸雑費は端数処理のみ計上する。

【単価表-6】門扉設置_両開き門扉 門柱高3.0m以下、門扉6.0m以下　　10　基　当り

名　　称	規　　格	単位	数 量	諸雑費	備　　考
土木一般世話役		人	2.600	○	
普通作業員		人	12.000	○	
諸雑費（率+まるめ）	労務費の3%	式	1.000		

※　諸雑費は，充填材の材料費等の費用であり，労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

【単価表-7】門扉設置_片開き門扉 門柱高2.0m以下、門扉1.0m　　10　基　当り

名　　称	規　　格	単位	数　量	諸雑費	備　　考
土木一般世話役		人	1.300	○	
普通作業員		人	4.800	○	
諸雑費（率+まるめ）	労務費の2%	式	1.000		

※　諸雑費は，充填材の材料費等の費用であり，労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

【機械運転単価表-1】油圧ブレーカ運転（バケット容量0.1m3対応　ベースマシン含む）　　1　日　当り

名　　称	規　　格	単位	数　量	諸雑費	備　　考
運転手(特殊)		人	1.000		
軽油		L	22.000		
油圧ブレーカ賃料	バケット容量0.1m3対応　ベースマシン含む	日	1.780		
諸雑費（まるめ）		式	1.000		

※　諸雑費は端数処理のみ計上する。

【機械運転単価表-2】小型ﾊﾞｯｸﾎｳ（ｸﾛｰﾗ型）運転（[標準型･ｸﾚｰﾝ機能付き･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)]標準ﾊﾞｹｯﾄ容量(山積/平積)0.11/0.08m3吊能力0.8t）　　1　日　当り

名　　称	規　　格	単位	数　量	諸雑費	備　　考
運転手(特殊)		人	1.000		
軽油		L	20.000		
小型ﾊﾞｯｸﾎｳ（ｸﾛｰﾗ型）損料	[標準型･ｸﾚｰﾝ機能付き･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)]標準ﾊﾞｹｯﾄ容量(山積/平積)0.11/0.08m3吊能力0.8t	供用日	1.780		
諸雑費（まるめ）		式	1.000		

※　諸雑費は端数処理のみ計上する。